

令和6年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	橋梁補修工事における支承補修工の金属溶射及び塗装に浮きがあった。

令和5年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	建築工事における土台の基礎のアンカーボルトの先端部が、ナットから3山以上出していない。(確認検査)

令和4年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	根固めブロックについて、連結ボルトのネジ山がつぶされていない。

令和3年度

	地域	工事手直し要求の内容
		事例なし

令和2年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	庄内	コンクリート平ブロック張工において、調整コンクリート上端のコンクリート厚さが不足していた。
2	最上	建築外構工事において、舗装の出来形が不足していた。
3	置賜	建築工事において、建方精度が基準値を超えていた柱が多数あった。
4	村山	銘板工において、補修歴版が設置されていなかった。
5	村山	橋梁下部工工事において、支承アンカーボルト孔の鉛直度が規格値を超えていた。
6	村山	建築工事において、砕石敷均しの出来形が不足していた。

令和元年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	舗装工において、下層路盤、上層路盤の現場密度が個々の規格値は満足しているがX3の規格値を満足していない。
2	最上	護岸工において、天端コンクリートの幅が不足していて規格値を満足していない。
3	置賜	溝畔盛土において、断面が不足しており規格値を満足していない。また、用水路のステップ幅が狭く規格値を満足していない。
4	最上	護岸工において、かごマットのコイルでの連結不足及び骨線端部の折り曲げ不良があった。
5	庄内	鉄骨ブレース材について、特記仕様書で定められた材料を使用していなかった。

平成30年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	最上	H29工事において道路幅員が規格外であることが判明し一部手直し及び評価の修正を行った。

平成29年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	最上	護岸工において、ブロック積工のすりつけ部に設置したじゃかご上面のふた網が未施工であった。

平成28年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	橋梁補修工において、取付護岸の護床工(玉石据付)の間詰コンクリートの基準高が規格値を超えていた。
2	村山	橋梁補修工において、補修歴板が現地に設置されていない。
3	置賜	水路工において、水路の基準高が規格値を超えていた。

平成27年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	置賜	コンクリート堰堤工において、右岸天端袖部の基準高さが規格値を満足しない。
2	置賜	橋梁架替に伴う河川の帯工前面のかごマット工において、下から2段目の河川横断方向の設置数量を誤って施工していた。
3	村山	橋台保護護岸工の上流側7.5m区間について、護岸の仕上がり高さが規格値を超えていた。

平成26年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	置賜	根固ブロック10個のうち、上流側6個について設置高さを取り違えて施工したため、基準値が規格値を満足しない。
2	最上	暗渠呑口擁壁工袖部の埋戻しの施工不良。暗渠併設水路工、集水柵、暗渠工のコンクリートの施工不良。ふとんかごの埋戻しの施工不良など。
3	置賜	護岸根入れ部の袋詰玉石工5個について、設置高さを取り違えて施工したため基準高が規格値を満足しない。
4	庄内	山腹工のモルタル吹付け工で、多数のクラックの発生や未施工の箇所、出来形が設計図書と一致しない箇所がある。
5	最上	止水材注入工24m区間で止水材を設計で24kg(標準1kg/m)注入すべきところ、8kgしか注入していない。

平成25年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	置賜	重力式擁壁工において、規格値(0. 2mm)以上のひび割れが143箇所あったほか、部分的な強度不足及び表面の不良箇所が29箇所あった。
2	村山	かごマット工において、本体が変形し、仕切網と蓋網及び蓋網と蓋網の結束が適切でなく、一部法長が不足している箇所があった。
3	置賜	橋梁塗装補修工において、主構(下弦材)の塗膜厚(設計175 μ m)が不足している箇所があった。
4	村山	ふとんかご工において、中詰用ぐり石の大きさが規格(15～20cm)を満足していなかった。
5	置賜	鋼製組立網工において、正面パネルと側面パネルを結束する平鉄3本ボルト(横)の取付が誤っていた。
6	置賜	谷止工において、袖部天端の基準高が規格値(±30mm)を外れている箇所があった。
7	最上	法覆護岸工において、ブロック目地の施工不良のほか、天端及び小口止コンクリートにひび割れ、設計との相違など。

平成24年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	公園整備工において、東屋の柱と屋根を結合するベースプレートの部材寸法を取り違えて製作加工し、設置していた。
2	庄内	橋梁主桁の工場塗装工において、箱桁内面及び箱桁外面上部の塗膜厚(設計240 μ m)が不足している箇所があった。
3	庄内	橋梁塗装補修工において、支点上補剛材の橋台側の塗膜厚(設計250 μ m)が不足している箇所があった。
4	置賜	橋梁の伸縮装置補修工において、仕上げ高さが規格値(0～－2mm)を外れていた。(－12～＋6mm)
5	村山	水管橋耐震補強工において、制震ダンパーブラケットとベースプレート全8箇所の塗膜厚(設計355 μ m)が不足していた。
6	村山	橋梁の取付舗装部において、ひび割れが4箇所(長さ1. 0m、1. 6m、1. 1m、0. 5m)あった。
7	庄内	橋梁塗装補修工において、ガセット及び当て板補修の塗膜厚(設計250 μ m)並びにボルトの塗膜厚(設計55 μ m)が不足している箇所があった。
8	庄内	鋼製枠床固工において、天端の基準高が規格値(－50mm)を外れている箇所があった。

平成23年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	庄内	かごマット工において、蓋網と側網の結束不良及び蓋網骨線と枠線の接続不良が81箇所あった。
2	最上	護岸工において、基礎部の埋戻コンクリートと岩盤が密着していない不良箇所が3箇所(L＝19. 72m)があった。
3	村山	電線共同溝工において、特殊柵蓋板とアスファルト舗装が接着不足のため、蓋板2箇所から舗装が剥脱した。
4	村山	橋梁上部工において、床版下面(30cm×30cm)にジャンカがあり、鉄筋が露出している箇所があった。
5	最上	コンクリート堰堤工において、本堤収縮目地部の残存型枠を切断していない箇所が3箇所(上下流共)あった。
6	庄内	モルタル吹付法枠(L＝117m)において、規格値(0. 2mm)以上のひび割れがあった。
7	最上	橋梁塗装補修工において、水平補剛材及び上フランジ部等の塗膜厚(設計250 μ m)が不足している箇所があった。

平成22年度

	地域	工事手直し要求の内容
1	村山	擁壁護岸工において、コンクリート厚が規格値(－30mm)を外れていた。(－67～－92mm)
2	置賜	橋梁の伸縮装置補修工において、仕上げ高さが規格値(0～－2ミリ)を外れていた。(0～＋11mm)
3	庄内	増殖礁製作工(コンクリート構造物)において、70基中24基に規格値(0. 2mm)以上のひび割れがあった。
4	村山	橋梁塗装補修工において、吊足場金具設置補修箇所の塗膜厚(設計250 μ m)が不足していた。
5	庄内	消波ブロック工(コンクリート構造物)において、70基中4基に規格値(0. 2mm)以上のひび割れがあった。